

【教養趣味系講座情報】

① 講師名

木野村 茂美

(講座NO. 40101)

② 講座名

「紫式部といふ人」—『紫式部日記』を通して—

③ 内容

2024年度のNHK大河ドラマが紫式部の人生を描いた作品として放送が始まりました。そこで、『源氏物語』という、日本を代表する古典文学として世界的にも著名な作品を残した紫式部の人となり『紫式部日記』を通して垣間見てみませんか。

『紫式部日記』には、紫式部が幼少期、弟が漢籍を学んでいるときに耳学問ながら、弟より早く漢籍を理解し、父からその才能を認められていた話も記されています。『源氏物語』の「桐壺巻」に、桐壺帝の桐壺更衣への寵愛ぶりを、唐の安史の乱(玄宗皇帝が楊貴妃を寵愛したことで国政が傾いたこと)を想像させる話題として描かれています。これは、紫式部に漢籍の素養があったことと関係が深いと考えられます。

『紫式部日記』を読んで、『源氏物語』の作者紫式部という人とその生きた時代を垣間見てみましょう。

④ 会場

丸の内

⑤ 回数

全 5 回

⑥ 曜日・時間

土 曜日 10:30 ~ 12:00

⑦ 受講料

11,000 円

⑧ 定員

20 名

⑨ 教材費等

無 プリント配布(都度 資料代を徴収 1枚あたり10円を予定)

その他(準備するものなど) 筆記用具

⑩ シラバス

回	日付	内容
1	10/26	御佩刀・御躰の緒・御乳付／御湯殿の儀／女房達の装束／三日の御産養／五日の御産養／月夜舟遊び
2	11/9	三日の御産養／五日の御産養／初孫をいつくしむ道長／中務の宮家との縁／水鳥に思いよそえて
3	12/21	時雨の空／土御門低行幸／管弦の遊び／御産剃り／中宮の大夫と中務の権の亮
4	2/15	御五十日の祝い／八千歳の君が御代／御冊子づくり／若宮の成長／里居の物憂い心
5	3/1	中宮内裏還啓／殿から宮への贈り物／五節の舞／殿上の淵酔・御前の試み／童女御覧の儀